

科目名	グローバル 経営戦略論特講	担当者	シナト 階戸 テルオ 照雄	期間	通年	単位数	4
-----	------------------	-----	------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	<p>本講座は、日本企業の優秀企業の条件を探り、コーポレート・ガバナンスの重要性についての理解を深めることを目的とする。また、経営戦略の基礎から応用までの知識を修得することにより、以下の能力を身につけることを目的とする。</p> <p>I. 経験や学修から得られた豊かな知識と教養に基づいて、自己の高い倫理観を倫理的な課題に適切に適用することができる。</p> <p>II. 想像力と独自性をもって問題解決の方法と手順を立案し、独力あるいは他者と協働して問題を解決することができる。</p> <p>III. さまざまな人々とのコミュニケーションを通じて他者との信頼関係を確立し、ときに強い影響を与えることができる。</p> <p>IV. 集団の活動において、より良い成果を上げるために、他社と協働し、作業を行うとともに、指導者として他社の力を引き出し、その活躍を支援することができる。</p>		
到達目標	<p>【一般目標 (GIO)】 経営者が会社経営において適切な意思決定を行うために、経営戦略の基礎から応用までの知識を修得することを一般目標とする。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 企業を巡る経営戦略論はもとより、諸理論や経営課題について把握し、その中で個別企業がとっている行動の背景を理解・概観できるようになることである。</p>		
学修方略 (方法) (LS) と学修時間	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> manaba folio を利用して、教員と院生との間での双方向を重視した個別指導を実施する。 manaba foio の掲示板や相互ディスカッションを利用して、受講者同士の協働学習を行う。 図書館、インターネット等で自ら論文検索して、レポートを作成する。 <p>【学修方略 (LS)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本図書・教材の十分な理解、参考文献の検索と適切な理解、レポート作成、受講者同士のディスカッション、あるいは複数回にわたって行われるレポート添削での教員と受講生によるディスカッションによりレポートの最終稿を完成させる。 <p>【学修時間】</p> <p>レポート課題1つにつき、完成までに以下を目安に最低45時間の学修時間を要するものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教材の学修：15時間 レポート執筆：10時間 レポート推敲と最終稿の完成（教員の添削指導等を含む）：20時間 		
スケジュール	<p><前期> ・レポート課題1 初稿締切期限：6月末 ★最終稿提出期限=前期学事暦期日 ・レポート課題2 初稿締切期限：8月末 ★最終稿提出期限=前期学事暦期日</p> <p><後期> ・レポート課題1 初稿締切期限：10月末 ★最終稿提出期限=後期学事暦期日 ・レポート課題2 初稿締切期限：12月末 ★最終稿提出期限=後期学事暦期日</p>		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	80%	教材内容を十分理解・修得し、レポートが作成されているかを基準とする（論旨明確さ、独創性、文章表現の妥当性、引用の適切性等）。
	観察記録	20%	初稿段階から最終稿までのプロセスを含む取組みを評価基準とする。
履修者への要望	<ul style="list-style-type: none"> 初稿の提出は締め切りを遵守すること。 経営・経済コースの経営部門のコア5科目の1つであり、他の科目（現代ファイナンス論特講、マーケティング論特講、アカウンティング論特講、人材マネジメント論特講）と合わせて履修することが望ましい。 		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	著者名： グロービス・マネジメント・インスティテュート 教材名： 『MBA経営戦略』（ダイヤモンド社，2017年） ISBN:978-4-47-806602-7 2,800円+税
	前期は経営戦略の概念を十分に理解することに重点をおき，経営戦略における基本的な分析ツールを使いこなせることを目標とする。その後，グローバル企業の戦略につき，実例に基づいた「成功要因」を考える。
参考図書	内田学『MBA経営戦略入門』（ダイヤモンド社，2005年） ISBN:978-4-47-837459-7 1,800円+税 ジェイ B. バーニー『企業戦略論（上）』（ダイヤモンド社，2003年） ISBN:978-4-47-837452-8 2,400円+税 ジェイ B. バーニー『企業戦略論（中）』（ダイヤモンド社，2003年） ISBN:978-4-47-837453-5 2,400円+税 ジェイ B. バーニー『企業戦略論（下）』（ダイヤモンド社，2003年） ISBN:978-4-47-837454-2 2,400円+税 チャン・キム，レネ・モボルニュ『ブルー・オーシャン戦略』（ダイヤモンド社，2013年）ISBN:978-4-47-802467-6 1,900円+税
履修上のポイント	1. 経営戦略における全社戦略，事業戦略，実践として戦略的経営を理解する。 2. グローバル時間の成功戦略を解明するため，どのような戦略が必要となるのか，考察する。 3. 基本図書の十分な理解は前提となるものの，当初理解が困難なときには，比較的平易な参考図書（『MBA経営戦略入門』）を利用することにより，経営理論等の理解を早期に図ること。 4. 参考図書のバーニー教授の「資源アプローチ」，W. チャン教授らの「ブルー・オーシャン戦略」は応用編として，理解を深めること。
レポート課題 1	アンゾフのマトリックスにつき，述べよ。同時に，アンゾフのマトリックスに基づき，1社以上の企業を選び，その戦略を説明せよ。 留意点： アンゾフのマトリックスの弱みについても，論述のこと。
レポート課題 2	日本企業のグローバル戦略の課題は何か，を平易に論述すること。 留意点： 1社以上の日本企業を選び，論述のこと。

基本教材 2	
教材の概要	著者名： 新原浩朗 教材名： 『日本の優秀企業研究』（日本経済新聞出版社，2006年） ISBN:978-4-53-219349-2 762円+税
	後期は日本企業の競争優位の条件を更に深く考察する。その考察の中で，現在日本企業の課題となっているコーポレート・ガバナンスのあり方に焦点を絞ること。
参考図書	全国社外取締役ネットワーク編著『〈社外取締役〉のすべて』（東洋経済新報社，2004年） ISBN:978-4-49-255514-9 1,800円+税
履修上のポイント	1. 日本企業の競争優位の条件・課題を多角的な観点より，考察する。 2. コーポレート・ガバナンス（企業統治）とは何か，を理解する。 3. 企業における取締役会・社外取締役の役割につき，理解を深める。 4. 世界的なコーポレート・ガバナンスの流れについての知識を深める。
レポート課題 1	日本企業の優秀企業の条件の中で，重要と思われる条件をいくつか指摘し，論述すること。 留意点： 1社以上の日本企業を選び，具体性を持たせること。
レポート課題 2	コーポレート・ガバナンスの意義を述べよ。 留意点： コーポレート・ガバナンスをもって，いかに競争優位が実現できるのか，を説明のこと。

基本教材 1

第 1 回	「学ぶべき課題」について全体的な理解をし、教材に基づく学修①（序章、第 1 節）を行う
第 2 回	「学修の進め方」について教員と意見交換し理解し、教材に基づく学修②（全社戦略, 第 1 節）を行う
第 3 回	教材に基づく学修③（全社戦略, 第 2 節）
第 4 回	教材に基づく学修④（事業戦略、第 1 節）
第 5 回	教材に基づく学修⑤（事業戦略、第 2 節）
第 6 回	教材に基づく学修⑥（事業戦略、第 3 節）及び「学修の進捗状況」を教員と共有する
第 7 回	教材に基づく学修⑦（事業戦略、第 4 節）
第 8 回	教材に基づく学修⑧（戦略的経営、第 1 節）
第 9 回	教材に基づく学修⑨（戦略的経営、第 2 節）
第 10 回	教材に基づく学修⑩（戦略的経営、第 3 節）
第 11 回	レポート課題 1・レポート課題 2 について考察した内容をまとめ、初稿を提出する
第 12 回	レポート課題 1 に係る教員からの指摘事項を受け、それに基づき内容を再検討する
第 13 回	レポート課題 2 に係る教員からの指摘事項を受け、それに基づき内容を再検討する
第 14 回	レポート課題 1・レポート課題 2 の問いに係る全体的な把握を深める
第 15 回	レポート課題 1・レポート課題 2 に関する自らの考えを教員と共有し最終レポートを提出する

基本教材 2

第 1 回	「学ぶべき課題」について全体的な理解をし、教材に基づく学修①（序章）を行う
第 2 回	「学修の進め方」について教員と意見交換し理解し、教材に基づく学修②（第 1 の条件）を行う
第 3 回	教材に基づく学修③（第 2 の条件）
第 4 回	教材に基づく学修④（第 3 の条件）
第 5 回	教材に基づく学修⑤（第 4 の条件）
第 6 回	教材に基づく学修⑥（第 5 の条件）及び「学修の進捗状況」を教員と共有する
第 7 回	教材に基づく学修⑦（第 6 の条件）
第 8 回	教材に基づく学修⑧（終章）
第 9 回	教材に基づく学修⑨（補論 1～補論 5）
第 10 回	教材に基づく学修⑩（補論 6～補論 10）
第 11 回	レポート課題 1・レポート課題 2 について考察した内容をまとめ、初稿を提出する
第 12 回	レポート課題 1 に係る教員からの指摘事項を受け、それに基づき内容を再検討する
第 13 回	レポート課題 2 に係る教員からの指摘事項を受け、それに基づき内容を再検討する
第 14 回	レポート課題 1・レポート課題 2 の問いに係る全体的な把握を深める
第 15 回	レポート課題 1・レポート課題 2 に関する自らの考えを教員と共有し最終レポートを提出する